



香川県産レモン適地マップ（県域版）の作成

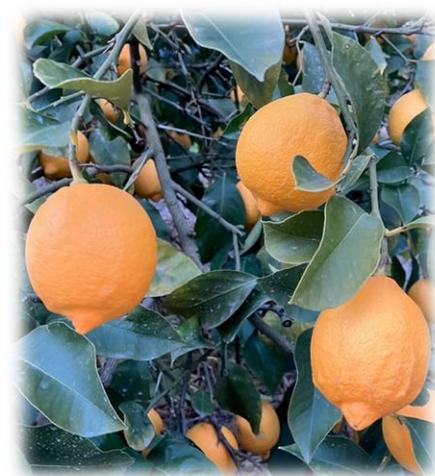
令和7年3月 香川県農業試験場 府中果樹研究所

- 香川県では、令和6年度に「さぬき讚レモン推奨制度」を創設し、高品質な県産レモンの生産振興とブランド化に取り組んでいます。しかし、このレモンはカンキツ類の中でも低温に弱いことが知られており、低温に遭遇すると、果実の凍結や落葉、枝の枯死が見られるほか、被害程度が大きい場合は樹体が枯死することもあります。このため、レモン栽培に適する地域に植栽するとともに、付加価値化、収量増加を目指した越冬栽培や安定生産を重視した年内収穫など、園地条件により凍害リスクを考慮しながら栽培管理に努めることが重要です。
- こうしたことから、レモンの栽培適地を簡易に判断できる「香川県産レモン適地マップ(県域版)」を作成しました。これは、過去20年間の日最低気温の出現年数をもとに、凍害発生リスクを4つの区分に分けて1kmメッシュで色分けしたものです。新たにレモン栽培に取り組むにあたり、栽培の可否や収穫時期の目安に活用できます。

(香川県産レモン適地マップ(県域版)の作成は、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 西日本農業研究センターの受託研究として実施したものです。)

1 適地性の区分

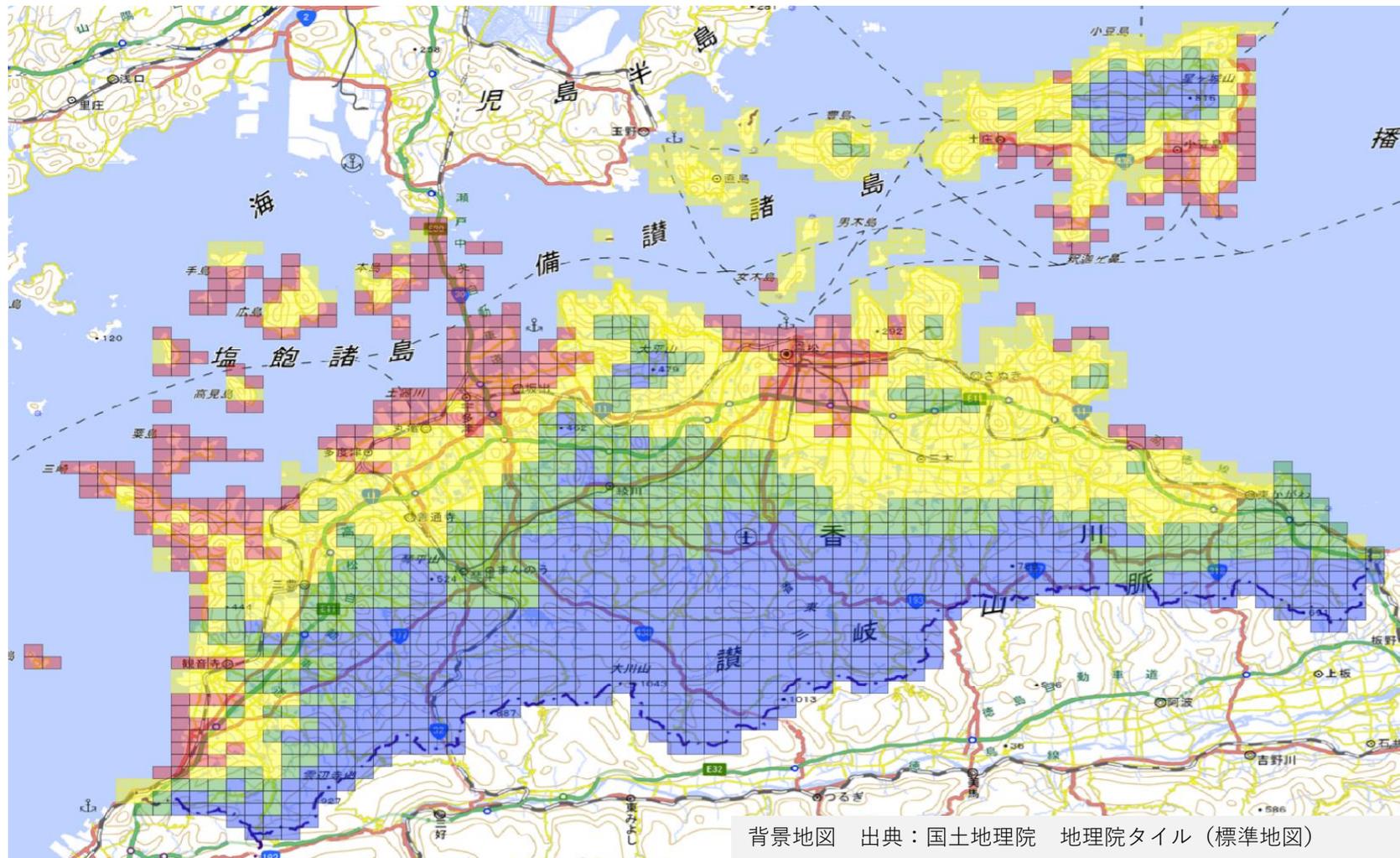
区分	概要	栽培上の留意事項	
		過去20年間の日最低気温の出現年数	
適地	−3℃以下になりにくい地域	−3℃以下になる年が2回以内 (10年に1回以内)	・凍害リスクが低い。 ・越冬栽培を検討。 ただし、−2℃・5h以上で凍害の危険。
準適地	−4℃以下になりにくい地域	−4℃以下になる年が2回以内 (10年に1回以内)	・寒波前の収穫を推奨。 ・果実の苦味、軽度の落葉の危険。
準危険地	−5℃以下になりにくい地域	−5℃以下になる年が2回以内 (10年に1回以内)	・年内収穫を推奨。 ・中度の落葉、枝枯れ、果実凍結の危険。
危険地	−5℃以下になる可能性がある地域	−5℃以下になる年が3回以上 (10年に1回より多い)	・凍害リスクが高い。 ・重度の落葉、樹体枯死の危険。



注) 本適地マップは、レモン栽培(「璃の香」は除く。)に取り組む際の栽培可否や収穫時期の目安を大まかに示したものであり、冷気が貯まりやすいところや着果樹は凍害が発生しやすくなるなど、実際の地形や樹の状態により凍害リスクが異なります。

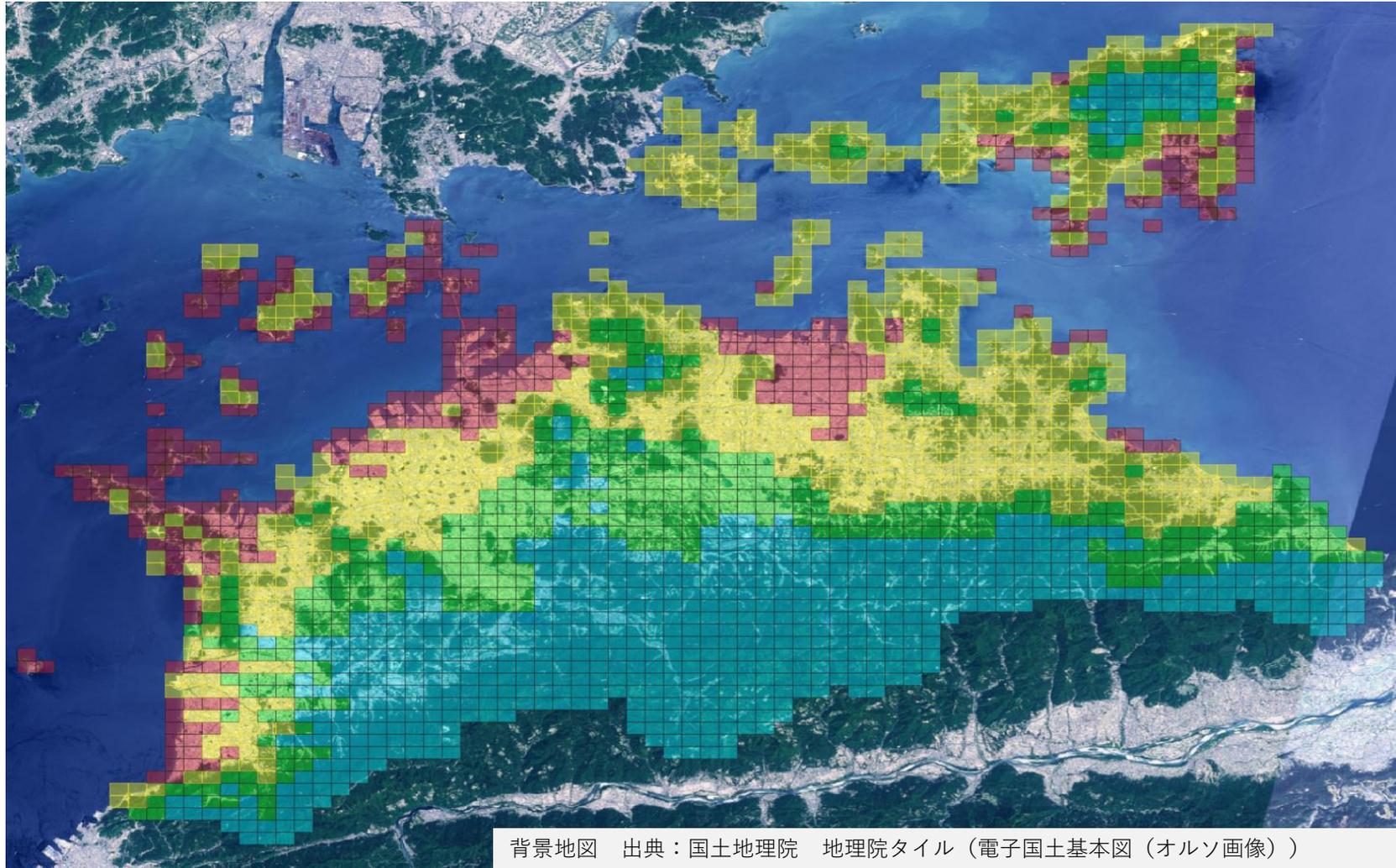
2 香川県産レモン適地マップ(県域版)

1) 背景：標準地図



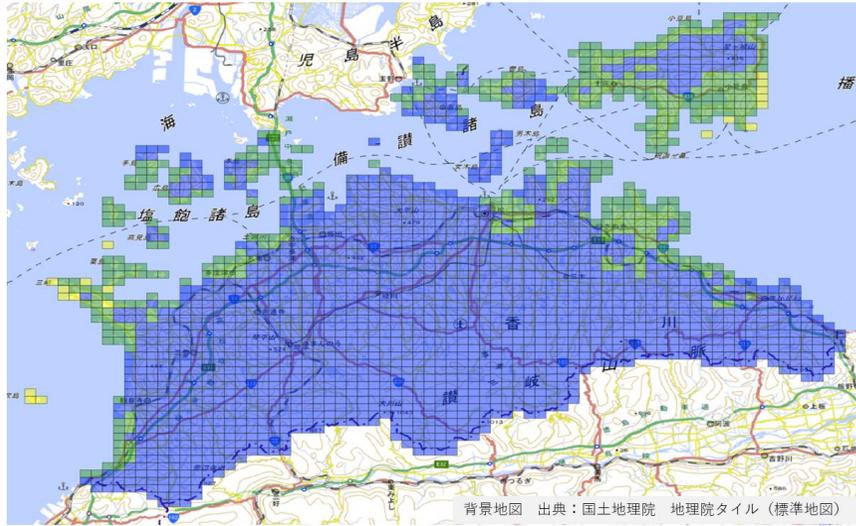
2 香川県産レモン適地マップ(県域版)

2) 背景：オルソ画像

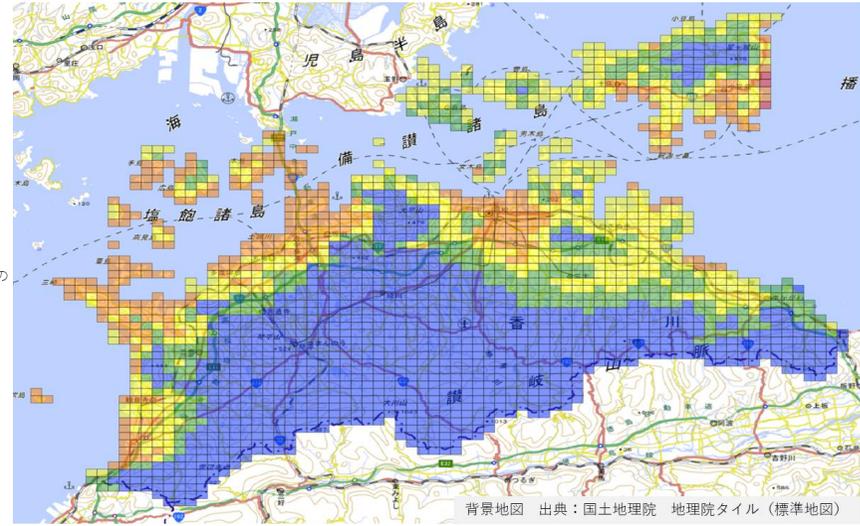


【参考】最低気温リスクマップ

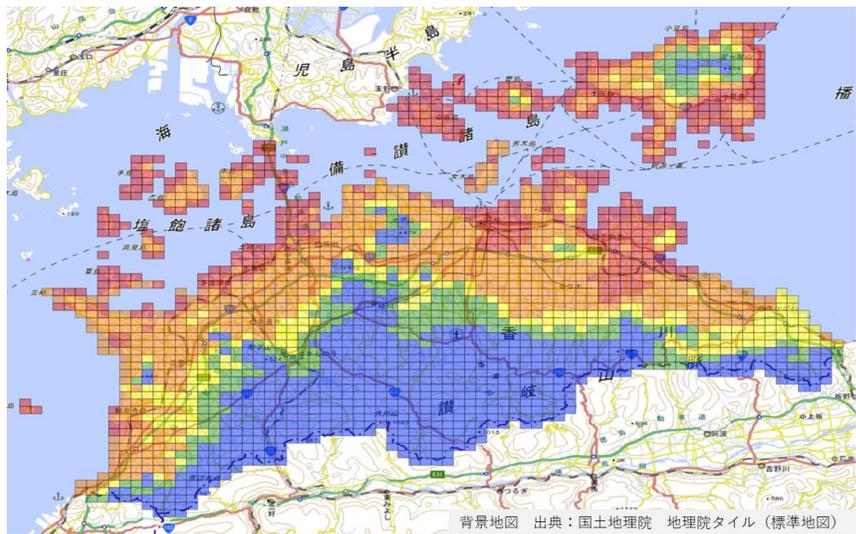
基準最低気温 -2°C



基準最低気温 -3°C



基準最低気温 -4°C



基準最低気温 -5°C

